

福井大学(学部入学定員:855人、大学院入学定員:388名)

[取組学部・研究科等: ○工学部(555人),工学研究科(279人)]

【構想の目的・育成するグローバル人材像】

歴史や文化が異なる地域においても、世界の人々と協働して生き生きとした暮らしづくりに貢献できる高い専門能力と創造力・実践力を有した技術者「Global IMAGINEER」の育成を目的とする。

【構想の概要】

①「実践的グローバル人材育成プログラム」の開発と実施 ②「語学センター」による実践的英語教育の実施 ③国際的通用性を持つ教育課程の実現。この3本柱を核として、工学部・工学研究科を中心に21世紀グローバル社会において高度専門職業人として活躍できる優れた人材を育成し、国際的にも通用する質の高い教育の実施を目指す。

■ 教育課程の国際通用性の向上

○ 教育課程の国際通用性の向上のための取組

キャップ制や単位の実質化、そのための専門教育も含めた時間枠の見直しを行い、現代社会の抱える困難な課題に立ち向かうことができるような総合的な科目のコア・カリキュラム化を実施する。

○ 戦略的な国内外への教育情報の発信

大学のグローバル化の促進のため、公表が望まれる教育情報の選択と公表を行い、必要な項目の多言語化を進め、戦略的な国内外への発信について全学的体制づくりを行う。

○ 事務体制のグローバル化

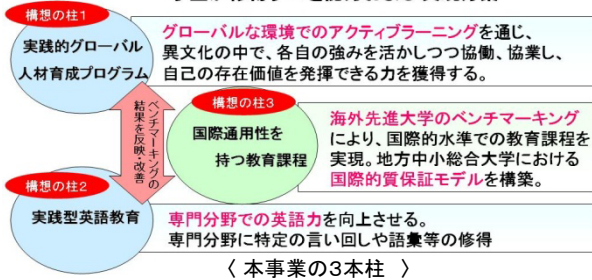
国際戦略の推進のため、専門性を備えたコーディネーターを登用する。語学教育・研修に職員を参加させ、SD及びFD研修を実施、職員の国際化に対する意識啓発に繋げる。



〈実践的な海外研修プログラムを整備・拡充〉

■ グローバル人材として求められる能力の育成

— 学生が修得すべき能力および実現方策 —



○ 実践的グローバル人材育成プログラム

学術交流協定校、留学生同窓会海外支部、海外進出県内企業と連携して実施してきた海外研修プログラムの実績を発展させ、グローバルな環境でのアクティブラーニングを通じ、異文化の中で、各自の強みを活かしつつ協働、協業し、自己の存在価値を發揮できる力を獲得する。

○ 実践的英語教育

語学センターが中心となり、社会に出て実際に「使える」専門分野での英語力を向上させる。

○ 国際通用性を持つ教育課程

海外先進大学のベンチマーキングにより、国際的水準での教育課程を実現し、地方中小総合大学における国際的質保証モデルを構築する。

■ 語学力を向上させるための入学時から卒業時までの一体的な取組

○ 入試における中等教育段階までの外国語力・留学経験等の適切な評価

TOEFL等のスコアの入試への活用や、入学志願者の留学経験等の適切な評価については、実際に導入している大学を調査し先行事例を研究するとともに、活用することによって生じる利点や課題などを整理し、全学的な視点で検討する。

○ 効果的な語学教育及び教育体制

語学センターでは、現在のEFL研究の知見を基に、「Integrated Skills Based on Vocabulary Building」により英語プログラムを開発し、統一的、総合的で実践的な英語教育を共通教育において展開する。

■ 教員のグローバル教育力の向上

○ 教育体制のグローバル化

語学センターで、ESL/EFLの資格を有する英語ネイティブの外国人教員や海外大学で学位を取得した日本人教員を多数採用し、英語教育改革を進めていく。語学センターのグローバルな教育体制によって大学全体のグローバル化にも貢献できる。

○ グローバル教育力向上のための取組

海外短期インターンシッププログラムの引率・協定校等での授業実践の機会を提供し、海外短期研修制度の新設やサバティカル研修制度を充実させ、教育・研究の推進、国際通用性のある教育課程へ反映させる。

■ 日本人学生の留学を促進するための環境整備

○ 動機付けや留学を促進するための取組

各学部・学科別に海外留学を含めた卒業までのロードマップ資料を提供し、そのロードマップに基づく計画・準備をサポートするSA及び教職員を配置する。留学に関する情報をデータベース化し、よりきめ細かな指導を学生に対して行える体制を整える。

○ 留学中から帰国後にわたるサポート体制

留学する学生全員に出発前オリエンテーションを義務付け、保健管理センター、学生支援センターと連携してサポートを行う。又、帰国後は、学生が留学経験を有効活用し、個々人に適したキャリア形成を行えるよう支援体制を整備する。

卒業・修了時に学生が修得すべき具体的能力

産業界が求める、国際的な事業で活躍できる英語力に基づき、卒業時に修得すべき外国語力スタンダードをTOEIC750点またはTOEFL PBT550点と設定する。英語力に加えて、東アジアまたは東南アジア1カ国の言語において初級程度の到達を目指す。また、グローバル社会において高度専門職業人として活躍できる優れた人材育成を目的として、学生の卒業・修了時には、①創造力、②自己学習力、③問題解決能力、④教養・専門的知識、⑤コミュニケーション能力の修得を目指す。

本構想において実現する達成目標

全 学		2011	2012	2013	2014	2015	2016
外国語力スタンダードを満たす学生数				7人	12人	25人	50人
うち海外留学未経験者数 (A)				5人	8人	18人	25人
海外留学経験者数 (B)		16人	16人	31人	42人	53人	60人
卒業[予定]者数 (C)		555人	555人	555人	555人	555人	555人
比率 ((A+B)/C)				6.5%	9.0%	12.8%	15.3%
工 学 部	卒業時の外国語力スタンダード	TOEIC750またはTOEFL PBT 550		7人(5)	12人(8)	25人(18)	50人(25)
	海外留学経験者数	16人	16人	31人	42人	53人	60人
	3 カ 月 未 満	16人	16人	30人	40人	50人	55人
	3 カ 月 ~ 1 年	0人	0人	1人	2人	3人	5人
	1 年 超	0人	0人	0人	0人	0人	0人
卒業[予定]者数		555人	555人	555人	555人	555人	555人

※1)「外国語力スタンダードを満たす学生数」の学部ごとの記入欄の()内は、外国語力スタンダードを満たす学生数のうち「単位取得を伴う海外留学未経験」の学生数を示す。

※2)上記の「海外留学経験者数」は、いずれも単位取得を伴う海外留学経験者数であり、単位取得を伴わない海外留学経験者は含まない。